

食の安全を正しく理解するために

(概要)

兵庫医科大学名誉教授

小泉直子

安全・安心という四字熟語が多用されているが、多くの識者が述べているように、安全は科学、安心は自己感情である。一方、消費者はある程度安全と分かりつつも、安心を過大に求めるところがある。その結果、行政、食品関連事業者は、安心を得るために多大の労力やコストを必要としている。

このような弊害を無くすためには、消費者が安全と安心の違いを正しく理解した上で、適切に食品を選択し摂取することが重要である。そのためには、行政、事業者が情報を分かりやすく公開し、信頼を得るために常に心がけることは勿論のこと、消費者自らも科学の目で食品を選択できる知識と判断力を養うよう努力することが必要である。